

平成21(2009)1月31日第118号

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

進学講演会開催

日本人学校や補習授業校の所謂(いわゆる)在外教育施設で学ぶ子どもたちがここ数年増えています。

保護者にとって、子どもの教育は最大の関心事であり、外国にいても、日本国内同様、子どもを中心とした生活を送っています。ヒューストン日本語補習校の保護者も2人、3人・・・と集まれば、子どもの教育のことがすぐに話題となります。

話題の中でも、節目である小学校入学試験、中学校入学試験、高等学校入学試験、そして大学入学試験や学年途中での編入学試験については深刻です。受験を間近に控えた子どもを持つ親は、子どもに叱咤激励をしながら英語、国語の教科を教え、面接のための準備をします。また、受験のための情報収集をしなければなりません。そして、その情報は正しく、かつ最新のものでなければなりません。残念ながら、補習校が持つ情報源は限られており、その情報量は決して多くありません。そのため、保護者は懸命に市販されている情報誌を読んだり、進学や編入を希望する学校のHPを見たり、帰国された方に話を聞いたりしています。

そこで、少しでも情報収集の助けになればと思い、1月24日(土)には、デトロイトから進学アドバイザーの丹羽筆人先生に来ていただき、大学進学のためのお話しをしていただきました。



大学の出願基準点や今年の入試速報を、数字を用いてわかりやすく説明していただきました。

帰国生入試キーワード「多様化」

2009年度の帰国生入試は、昨年9月初めに始まり、現在も続いています。AO入試や自己推薦、公募推薦、海外就学経験者入試、FIT入試、アクティ

ブ入試など、名前としくみがたくさんあって、まさに多様化しています。現地校を卒業し、日本に帰ってから準備をするのでは遅いことがよくわかりました。自分が勉強したい分野、入学したい学科・学部、大学の入試要項を早め入手し、目を通しておく必要があります。今年、帰国される12年生の人はもちろんのこと、11年生の人も先を見越して準備を始めてください。



【ペンを走らせる参会のみなさん】

海外でやっておくべきこと

出願のための書類は数多くあり、「海外から持って帰るもの」と「帰国後用意するもの」があります。まずは、必要書類を揃えておかなければなりません。ここでは、成績証明書や推薦状は余分に1通発行してもらい、自分で確認しておくことが、面接対策等につながるのではないかと、講演会ならではのアドバイスをいただきました。

受験生はSATやTOEFLのスコアアップに励むこと、ヒューストンやテキサス州のことを知ることで、現地校生活において課外活動やボランティアに勤しむこと、日本語の文法、語彙、意味などを正確に使いこなせるようにしっかりと学んでおくことがポイントです。(日本語学習については、講演前夜、丹羽先生は週1回の補習校での学習がいかに重要かということをお話ししていました。)

続いて、「主な私立大学と国立大学の3年間の受験状況」と「医・歯・薬・獣医学部受け入れ国立大学」について入試結果をもとに説明をしていただきました。「医・歯・薬・獣医学部受け入れ国立大学」が、年々少なくなっているというのは残念なことです。

2009年度の入試速報では、すでに集計結果が

出ている私立大学の中で、早稲田大学、慶応大学、上智大学について志願者数と合格者数、入試のポイントを簡潔に話していただきました。

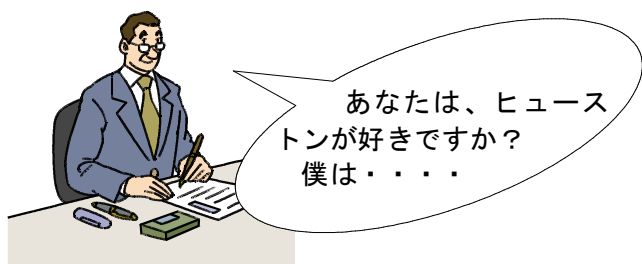
国立大学は2月末まで予定が組まれています、一般入試と違い、日程さえ重ならなければ何校でも受けることができるのが帰国入試の利点であることを教えていただきました。

圧迫（あっぱく）面接

最後に、面接では「いじわるな質問」がされることがあるということを知り、すぐに“圧迫面接”という言葉を出しました。

『「〇〇人は好きですか？」で「はい。」と答えたら、「僕は嫌い。」と言われた。』という面接の質問例が資料に書かれていました。

面接官から、「あなたはヒューストンが好きですか？」と質問され、あなたは、「はい。」と答えたら、質問官が、「僕は嫌い。」と言いました。あなたはどのような反応をしますか。



これは、面接官がわざと受験者の「好きです。」という応答に反論することで、受験者の反応を見ていたわけです。

圧迫面接という言葉は、高校生にとって聞き慣れない言葉ですね。圧迫面接は、受験者に対してわざといじわるな質問や威圧的な内容の質問をしたり、応答に激しい突っ込みや反論を行ったりして、これに対する受験者の応答や対応（反応）を見て評価する、面接の手法の一つなのです。

受験生のみなさんは、「いじわるな質問」がされることがあるという事実を知り、その時はどのように応ずればよいのか、その対応を考えておいてください。“短気は損気”ということですよ。

来年も講演会を！

講演会の開催時期や講演時間、内容などについてのアンケート結果を集計しました。

参会者全員から、“時期や時間はちょうどよい、内容はよかった。”と高い評価を得ることができました。

「情報はインターネットで得る位しかできない環境なので、今日のお話は大変参考になりました。複雑な入試が少し理解できたと思います。」「具体的な帰国受験の中身の説明が詳しく、参考になりました。」

「受験情報を聞くことができ、たいへん有意義でした。」「今まで具体的な受験までの詳しい説明会はなかったもので、とても参考になりました。説明をしてくださった先生もアメリカの事情をよくご存じの上でお話しをされたのでわかりやすかったです。」「帰国生受験のノウハウを全く知りませんでしたので、多くの情報を頂きまして、有益な時間でした。」「来年以降も是非ヒューストンにいらして頂けますようお願いいたします。」

今年は保護者対象でしたが、高校生を対象にした講演も一考できます。これをきっかけに、毎年、開催できればいいなあと思いました。

今回は大学受験のための講演会でしたが、小中学生の保護者を対象とした中学受験や高校受験、小中学校の編入学試験のための講演会も必要だと感じました。この年齢層の情報が不足していることは否めません。進学関係において、この講演会開催から保護者のニーズとこれから私が解決すべき課題が少し見えてきた気がします。

商工会婦人部からのお願い

先週 1/24（土）に配布致しました、総領事館・商工会婦人部共催によるミニクラシックコンサートのご案内レター上に誤りがございました。本日、再度配布致しました、同・改訂版へお差し替え下さいますこと、お詫びしてお願い申し上げます。

◆パトロール当番予定表 2月 7日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1	リーダー	小6	1 7 小林 光
			2 1 8 王子 悠生
			3 1 9 岡本 リオ
			4 2 1 中山 知樹
			5 2 2 武井 紀博
			6 2 3 原 裕太郎
			7 2 4 中山 英明
★PM1	リーダー		2 5 木村 勇作
			2 6 ヘインズ ポール 聡
			3 2 8 岩本 郁人
			4 2 9 高橋 裕太
			5 3 0 大沢 真琳
		中1	6 1 伊藤 若嘉
			7 2 岩本 結衣

<転出> 伊場田 桃子さん (小6 A)

久しぶりの日本の学校ですね。日本のお友だちにアメリカやヒューストンのことを教えてあげてね。

いつも周りを明るくしてくれる太陽のような笑顔をありがとう。お元気で、さようなら。